

歯ッピー通信

第八号

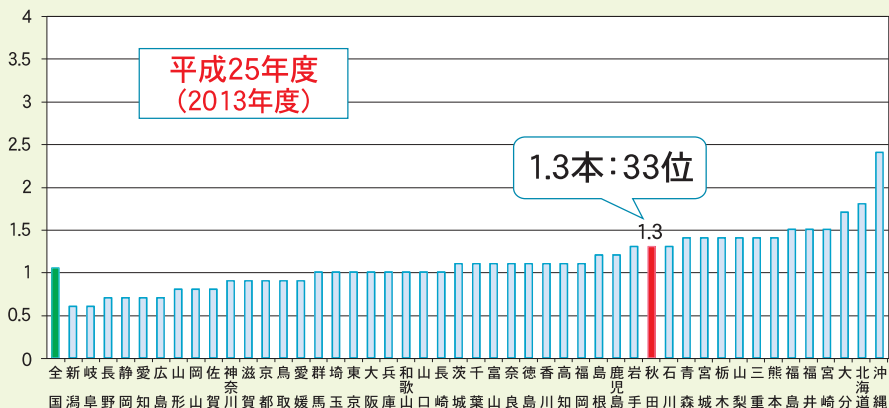
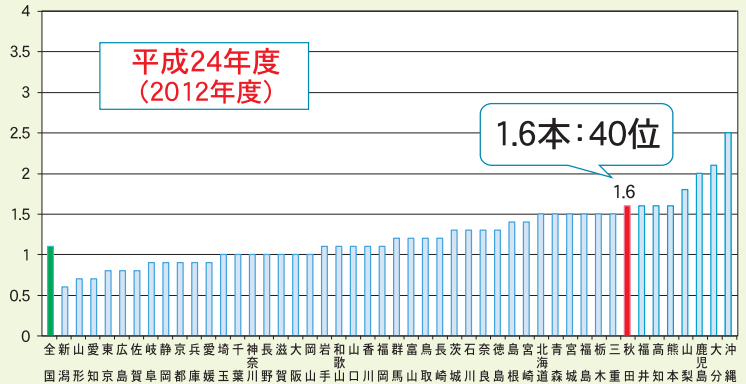
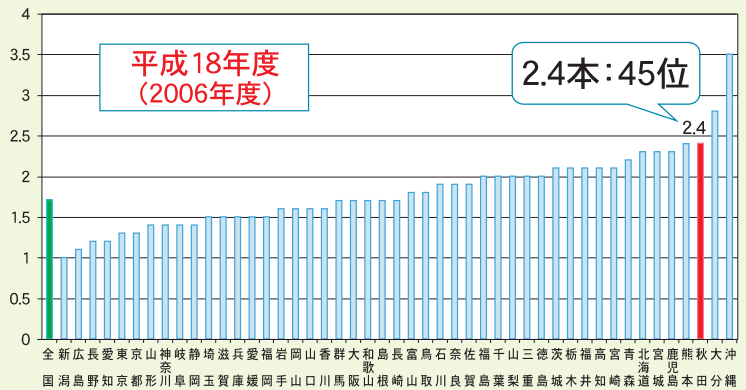
12歳児（中学1年）のむし歯が大きく改善！

12歳児一人あたりの永久歯むし歯本数が1.3本（全国平均1.05本）まで減少しました。（平成25年度）

秋田県の子どものむし歯は、乳歯、永久歯ともに多く、全国との比較で、以前は常に最下位グループでした（平成18年度）。

10年前から始まり少しずつ県内で広がってきたフッ化物洗口事業の効果もあり、平成24年度は全国40位、平成25年度は一気に33位まで大躍進しました。

幼稚園・保育所、小・中学校で行われる集団フッ化物洗口がさらに広がり、いずれ全国平均を越え、近い将来1位の新潟県に追いつくことも可能です。



“6歳臼歯”とは？

第1大臼歯のことを一般的に、「6歳臼歯」といいます。この6歳臼歯は、下の前歯の生えかわりとともに6歳頃に生えてくるため、このように呼ばれています。**6歳頃に生えてきますが、永久歯（大人の歯）です。**



下の6歳臼歯



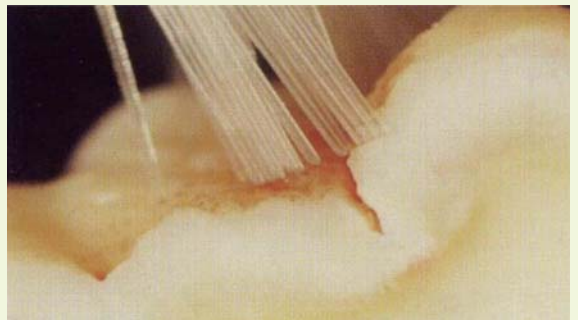
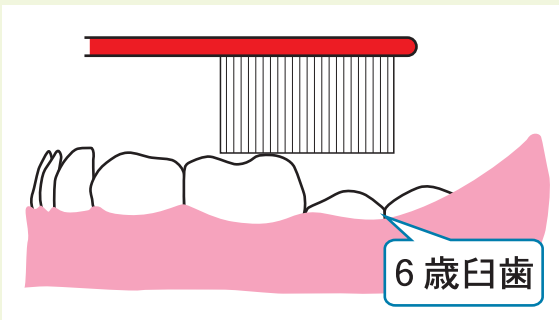
上の6歳臼歯

とても大切な歯です！

6歳臼歯（第1大臼歯）は、一番奥にある乳歯の後ろに、上下左右一本ずつ生えてきます。永久歯の中で最も大きく、食べ物を噛む力も一番です。

また、上と下の噛み合わせもこの歯で決まります。したがって6歳臼歯が正しい場所に生えてこない、次に生えてくる歯の歯並び、噛み合わせに悪い影響を及ぼします。永久歯の中で最も大切な歯といえます。

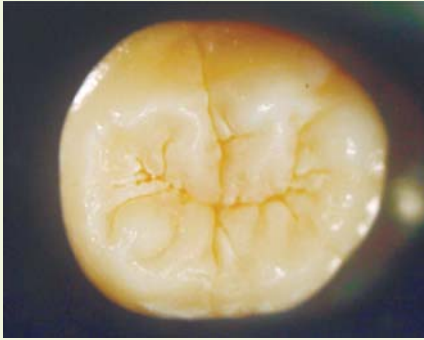
生え始めが危ない！



生え始め2～3年までの6歳臼歯は、エナメル質の結晶が未成熟でむし菌の出す酸によってむし歯になりやすくなっています。また、乳歯列より一段低く、約1年かけてゆっくり生えてくるため噛みがきがしにくくなっています（左上図）。さらに噛み合わせのところは、溝が深く複雑で、歯ブラシの毛先が入っていきません（右上図）。そのため食べかすやむし菌がたまりやすく、むし歯の危険性が最も高い時期です。

“シーラント”で6歳臼歯を守ろう！

6歳臼歯の噛み合わせの溝に樹脂をつめて、むし歯から歯を守る予防法です。



シーラント処置前



シーラント処置後

写真提供：東北大学大学院歯学研究科 教授 福本 敏先生

シーラント処置を受けた歯は、溝がシーラント材でふさがれるので歯ブラシが届きやすくなり、食べかすやむし歯菌がたまりにくくなります。また、歯質を丈夫にするフッ化物も配合されています。

シーラント処置は、歯科医院で受けられます。歯を削ることがなく、痛みのない処置です。5, 6歳になったら、乳歯の奥に6歳臼歯が生えてきていないか、仕上げみがきの時に観察して下さい。

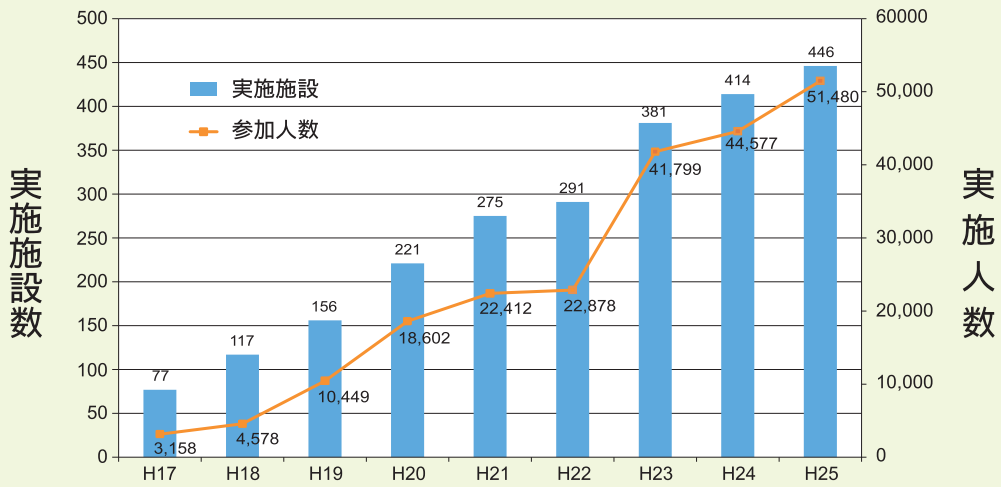


このシーラント、奥歯の噛み合わせの溝であれば、どの歯でも処置ができます。乳歯でも溝が深く汚れがたまりやすい場合や小学6年生頃から生えてくる第2大臼歯にもお勧めです。

しかし、シーラントが剥がれたり、欠けたりすることもあるので、歯科医院で定期的なチェックを受けて下さい。

**フッ化物洗口と合わせて
行うとさらに効果的です。**

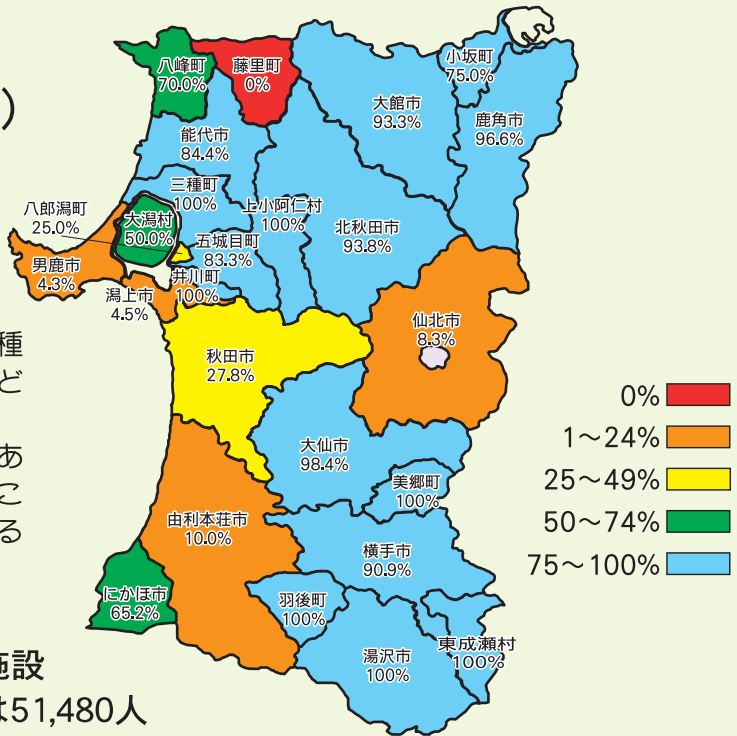
秋田県における集団フツ化物洗口 実施施設数と実施人数の推移



平成 25 年度は、5 万人以上の子どもたちが集団フツ化物洗口に取り組みました。幼稚園・保育所では全 360 施設中 191 施設 (53.1%)、小学校では全 228 校中 186 校 (81.6%)、中学校・特別支援学校では全 137 校中 69 校 (50.4%) で行っています。これら施設の実施率は全国でもトップレベルにあります。

平成25年度 市町村別実施率(全体) H26.3月現在

昨年度に比べ大館市、小坂町、三種町、大湯村、五城目町、美郷町などで実施が広がりました。いまだ実施が進んでいない地域もあり、地域格差が存在します。このことが、こどもの健康格差につながる心配があります。



全県での実施施設数は446施設
実施率は6.15%、実施人数は51,480人

ご質問・ご意見はこちらまで
 発行：秋田県歯科医師会 〒010-0941 秋田市川尻字大川反 170 番地 102
 TEL018-865-8020 FAX018-862-9122
<http://www.akita-da.or.jp/index.html> E-mail:madoguchi@akita-da.or.jp
 協賛：秋田県、秋田県歯科衛生士会